

絵画作品の額装

公益財団法人佐川美術館
学芸員：松山 早紀子



観る人の視線をひきつけ、心を豊かにしてくれる絵画作品。額縁は、その絵画作品を効果的に引き立てて、より魅力的、価値あるものに見せてくれます。額縁には、主に2つの役割があります。

1つ目は大切な作品を保護し保存することです。額装時には、ガラスやアクリルと作品が直接触れるのを防ぐ目的で、作品と額縁の間にマットボードを入れます。これは作品を保護するほかに、額縁と作品との間に視覚的に心地よい空間を作るというデザイン面でも重要な役割を果たしています。このデザイン面こそが、2つ目の役割です。

マットとピクチャーモールドディング(額縁の枠になる棹材)の幅や色・素材などによって作品全体の印象が大きく変わります。額装するにあたっては、作品と合っていることは最も重要ですが、作品を飾る空間の広さや雰囲気にも調和しているかどうかも大切な要素です。

佐川美術館の平山郁夫作品の額装を見てみると、日本画作品は幅広のゴールド系の額装が作品を豪華に見せ、存在感があるのに対し、素描は無垢の木枠ながら、マットはゴールド系で日本画作品と統一性を持たせています。同じ空間に飾られた時に、きれいに調和して見えるように考えて額装されているのが確認していただけます。

いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本

子どもの読書活動

学校・園の取り組みを紹介します⑳

☎社会教育課 ☎(582)1142 ☎(581)2733

吉身保育園

ボランティアさんのおはなし会

吉身保育園では、毎月一回ボランティアの皆さんに来てもらい、おはなし会を行っています。絵本や紙芝居、手作り絵本などに、子どもたちはわくわくしながら絵本の世界に入り込んで楽しんでいます。



また、絵本だけでなくハーモニカに合わせて歌を歌ったり、クイズをしたりと季節に合わせた内容で、子どもたちは興味を持って参加しています。ボランティアさんに読んでもらった絵本を気に入り、自分で読む子どももいます。

絵本を通して子どもたちが心豊かに育ち、絵本が大好きになってくれればと思っています。

浮気保育園

お話会と絵本との出会い

図書館の読み聞かせボランティアの皆さんに来てもらい、「お話会」を毎月一回実施しており、園児たちとても楽しみにしています。お話会は園児たちにとって新しい絵本との出会いの場で、イラストや言葉の繰り返しの楽しさ、お話の展開のおもしろさに、毎回「今日はどんな絵本なのかな」とワクワクしています。また、降園時には絵本コーナーで、絵本を楽しむ親子のほほえましい姿が見られます。絵本を通して親子が心通い合う時間になればと願っています。



これからも「お話会」をはじめ、子どもたちがさまざまな絵本と出会えるよう取り組みたいです。